

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有二 選

草取りが好きだった母生前の笑顔思いて更地向かう
小谷 今吉マキ子

わが町の地震のあとの更地には想いのこもる家の建ちゆく
安永 金子フム子

降りしきる雨に戦く束の間の小止の庭に蛙の声す
安永 守住 孝子

年月の早さを思う喜寿迎え神の御前心新たに
惣領 島田 廣子

若き日に登りし八方の山開き 友と語れば昨日のようだ
安永 川野 光子

新緑の山女魚の里はほの暗く せせらぎ聞こえ屋敷楽しむ
安永 山下たか子

梅雨入りの川沿い行けば紫陽花が色とりどりに今を華やぐ
広崎 松原まゆみ

今日のメモ足の運びも軽やかに施設の友と歌いしを書くと
上陳 永田巳智子

散歩道更地のあとに野草咲き所々に新築の家雲間から中休みした陽が注ぐ 額紫陽花の鉢植え眩し
赤井 鈴木 駒

立ち止まる思い出の歌流れてる歌手を偲んで共に歌えり
広崎 瀬戸サイ子

馬水 西田 正巳

【お願い】 投稿は、一人一首でお願いいたします。

俳句

河野 全平 選

真つ黒にはじける笑顔かき氷
千天の慈雨にからいも青みけり
梅雨晴間満艦飾の物干し場
夏野菜わが菜園に揃ひ踏み
夕空に浮かぶ翠巒三ノ岳
生と死と介護士訣れの菊を盛る
猛暑にも負けじとゴーヤ這い上る
雷雨襲来濡れねずみなり医者通ひ
湧き水の溢るる小径夕螢
一句鑑賞

天も地も傾く家も灼けてをり
杉本 典代

【お題】 鉛筆
達筆で別れてくれと妻のメモ
筆箱に仲良く並ぶ肥後の守
老いてなをチビた鉛筆なめてをり

【お題】 自由詠
着飾って米寿の祝いただ感謝
新大関目ぢから強い栃ノ心
猫またぎ捌きもせずに妻の愚痴

※参考例
阿蘇神社エンピツ耳に宮大工

川柳

布田川左門 選

真つ黒にはじける笑顔かき氷
上陳 坂口由美子
小池 永田巳智子
宮園 本田 賀子
野口志津子
木山 今吉美美江
馬水 土井 樹雄
小谷 今吉マキ子
木山 山口サツキ
田原 辻ヶ峰子

赤井 子すずめ
青目の行司

赤井 すいすい

この町が好きたとえ仮設のくらしでも

川柳のお題 「みどり」(緑)または自由詠

益城の文化財
町文化財保護委員会



福原

群玉山皆乗寺

皆乗寺は、昭和60年度の熊本近世社建築緊急調査の対象となっており、その価値は早くから認められていました。平成28年熊本地震被害調査により、その構造やデザインなどの特徴が明らかとなりました。

構造の合理性を追求し防火対策を徹底。屋根形式や装飾面では幕府の『寺社法度』を尊重する姿勢(質素な造り)を示しながらも、それを逆手にとつて彫刻的な装飾を多く用い表現力を高めており、文化年間の歴史的建造物として価値が高いと認められました。また、先代住職が心血を注いで完成された『皆乗寺誌』により記録が残っていることも評価され、益城町重要文化財に指定されました。なお『皆乗寺誌』は寺伝としてだけでなく、益城町の歴史を知る貴重な記録でもあります。